

第5章 基本方針

1. 基本理念

(1)ビジョン

国や山梨県をはじめとした様々な主体が一体となって、富士山の普遍的価値を後世に継承し、快適な登山道を整備するため、以下のビジョンを定めます。

つなげよう 信仰のみち

吉田口登山道

(2)将来像

ビジョンに基づき、吉田口登山道が目指すべき4つの将来像を以下のとおり定めます。

●富士山信仰を体感できる環境を継承する登山道

吉田口登山道の歴史的環境は、富士山信仰の巡礼路に沿って残される遺構が、標高ごとに移り変わる自然と一体となって形成されています。また、登山道内の文化資源は少しずつ形を変えながら今日まで継承されています。富士山信仰を体感できる貴重な登山道の保全とその環境をできる限り現在の形で保存・継承していきます。

●市街地と一体となって活用する登山道

吉田口登山道は、麓からのルートが明らかな唯一の富士山の登山道であり、麓の御師町や市街地は、富士山信仰の歴史的環境の一部を構成しています。歴史的な資源をまちづくりや観光振興に活かし、麓の市街地と連動した吉田口登山道の活用を目指します。

●安全で快適に歩くことのできる登山道

登山の初級者～中級者のほか、ハイキング利用者が安全に利用することができ、市民のみならず、外国人を含めた登山客、観光客等に広く開かれる登山道を目指します。そのため、車道や公共交通を含めた登山者の利用する施設の利便性を高め、情報提供を充実させ、年間を通じて多様に登山道を楽しむことができる環境づくりを行います。

●協働して維持管理していく登山道

吉田口登山道はかけがえのない市民共有の財産です。若い世代を含めた市民が登山道の保存や維持管理に携わることで、市外からの来訪者や異なる世代の人々との交流が生まれ、生きがいや健康づくりに繋がり、市民の誇りとふるさとへの愛着を高めることに繋がると考えます。そのため、市民協働による持続可能な登山道の維持管理の実現を目指します。

2. 基本方針

ビジョンと将来像を実現するため、以下の9つの基本方針に基づいて事業計画を実施します(図5-1)。

- ①富士山信仰の対象としての性質を色濃く残す登山道・遺構の保存
- ②登山道内における自然環境の保全
- ③御師町と連動した登山道の活用
- ④山小屋の利活用
- ⑤情報発信の強化と工夫
- ⑥信仰登山を想起させる景観等の整備
- ⑦登山者の利便性を高める登山道の整備
- ⑧策定委員会や関係者会議の機能を持つ組織と活動の継続
- ⑨利用者、関係者、関係団体、地域等を巻き込んだ登山道の保存・活用事業の実施

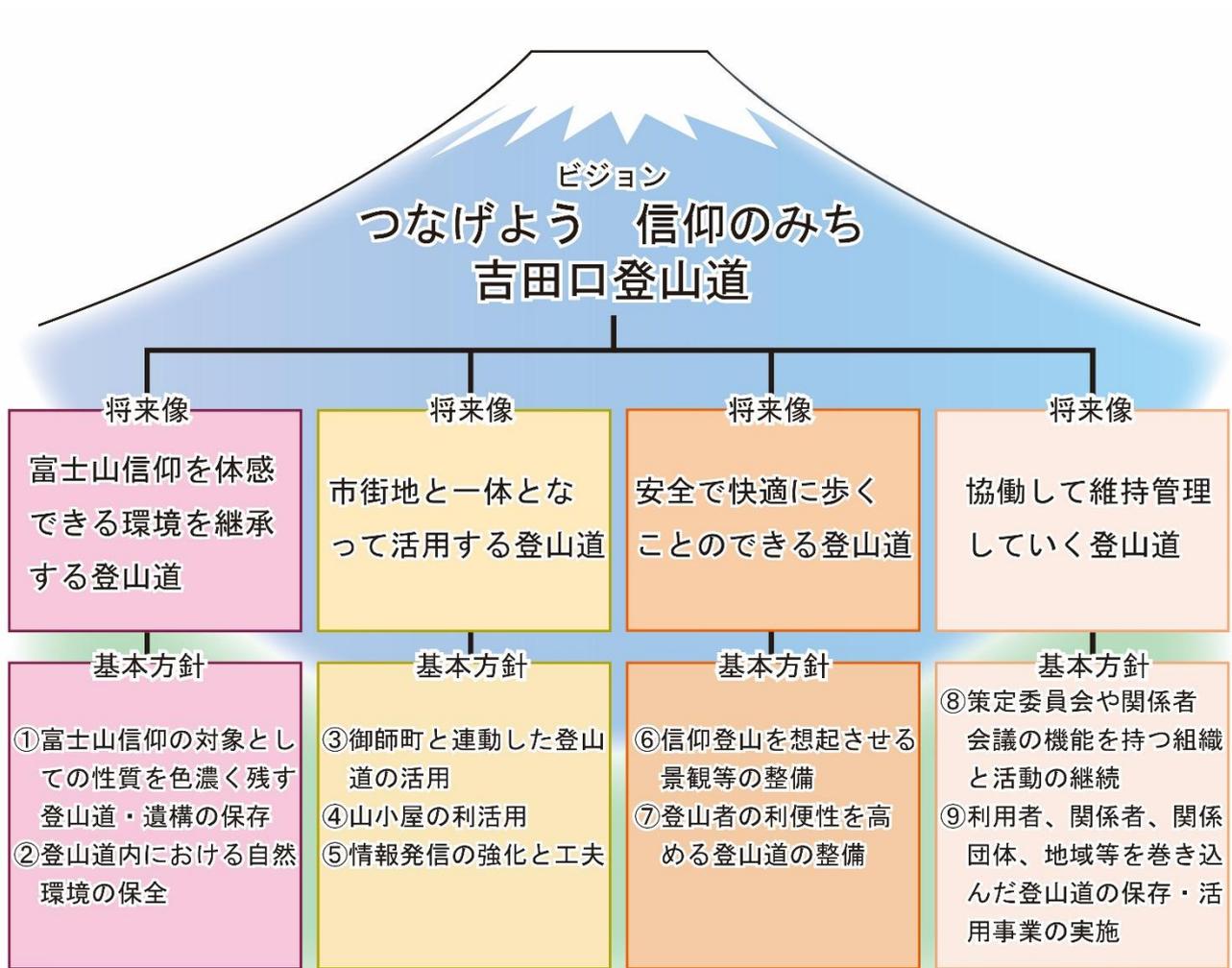


図 5-1 ビジョン・将来像・基本方針の関係性